

この子の命は、繋がった 手の数で守られる。

第7回 九州 小児在宅 医学会 ～医療的ケア児者のための 地域で支える防災～ オンデマンド

2026年7月23日(木)～
配信8月24日(月)まで

【テーマ】地域防災における医師の役割を考える

【開催形式】

オンデマンド配信

【参加費】無 料

※この取り組みを未来につなげるため
ご賛同いただける方からのご支援
(応援チケット 1,000円)を募っております

【対 象】

小児在宅医療に関心のある方ならどなたでも

【申込方法】

[左下QRコード](#)か下記URL

(当学会HP)よりお申込み下さい

【申込締切】

8月24日(月)

主催：九州小児在宅医学会
一般社団法人てととココロ
共催：熊本小児在宅ケア・人工呼吸療法研究会
熊本県医療的ケア児支援センター
熊本大学病院小児在宅医療支援センター

【問い合わせ先】096-373-5653
(熊本県医療的ケア児支援センター)
syouni.zaitaku@kuh.kumamoto-u.ac.jp

●冒頭動画出演

日本小児在宅医学会 理事長
(医療法人財団はるたか会 理事長) 前田 浩利

●オープニング講演

座長：らららこどもクリニック 院長(鹿児島県)

渡邊 健二

「医療的ケア児の防災は、小児周産期リエゾンが進める」

熊本県医療的ケア児支援センター

副センター長 小篠 史郎

座長：長崎県医療的ケア児支援センター「つなぐ」

センター長 岡田 雅彦

「一人で避難は難しい。だから、つながる。」

～医療的ケア児の防災さんぽ～

熊本県医療的ケア児支援センター

統括医療的ケア児等コーディネーター 宅島 恵子

●招待講演

座長：熊本県医療的ケア児支援センター

副センター長 小篠 史郎

「地域と医療をつなぐ防災のかたち

～住民として、医師として地域防災に向き合って見えたこと～」

国立病院機構 愛媛医療センター 小児科医長 桑原 こずえ

●シンポジウム

座長：熊本県医療的ケア児支援センター

小篠史郎・宅島恵子

「医師と地域住民が連携して取り組む地域防災

～医療的ケア児から高齢者まで～」

・まえだクリニック 院長(熊本県) 前田 淳子

・八代市第3地域包括支援センター(熊本県)

センター長 中田 秀博

・坂ノ市病院 小児科(大分県) 長濱 明日香

・はながしま診療所 院長(宮崎県) 澤田 一美

●総合討論

